

# 安全に関する改善事例

記入日: 2005.10.12

(所属会社)

(氏名)

(連絡先電話番号)

記入者:

ダム名	所在地県名	発注者	型式	ダム諸元		
				堤高(m)	堤頂長(m)	堤体積(千m <sup>3</sup> )
留萌ダム	北海道	北海道開発局	R	41.2	440	1250
設計・施工区分	工種	想定される事故の種類	想定される事故の要因	危険作業の種類	設計変更の有無	
施工	ダム土工・フィルダム堤体工	重機事故・交通事故	人的要因	運搬	無	

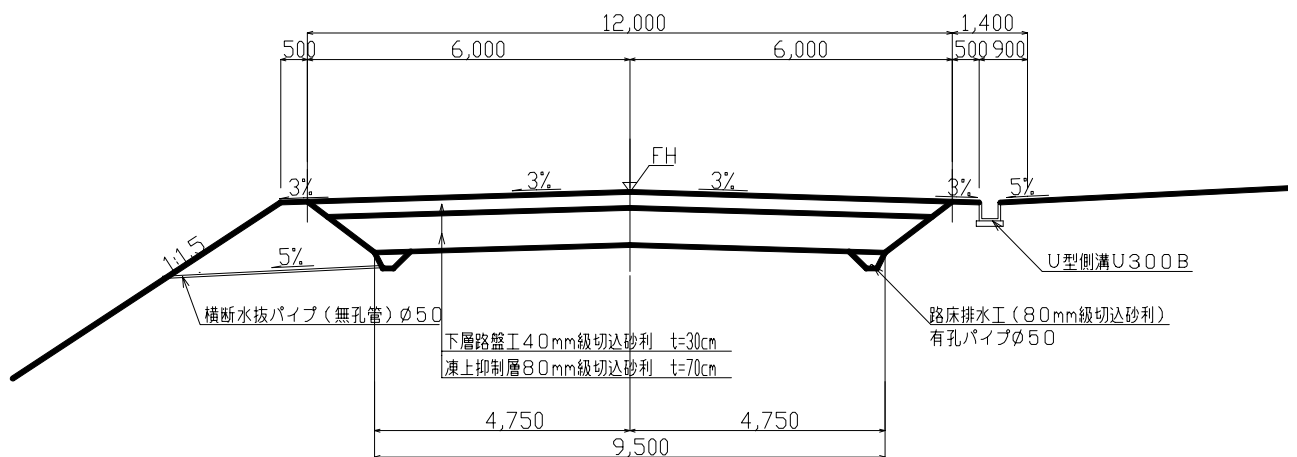
**改善の概要:** 基礎掘削材流用による幹線工事用道路の有効幅員拡幅  
 ダム本体と原石山を結ぶ7.6kmの幹線工事用道路は、32t級重ダンプトラック対応の有効幅員12mで先行工事で施工が完了していた。幹線工事用道路の大部分が盛土構造であること、また用地に余裕があることさらに基礎掘削材120万m<sup>3</sup>と大量であることから、基礎掘削材を流用して幹線工事用道路の外側に盛土をおこない有効幅員を16mとした。

**特許の有無**  
 無

**メリット:** 幅員が広がることにより、離合時の安全性が向上するとともに、道路の維持管理が容易になる。また、さらに46t級重ダンプトラックの走行も可能となり、状況に応じて施工性を向上させることが可能となる。

**デメリット:** 路体盛土の材料は流用材でありコスト上問題はないが、路盤材や路体改良材の費用が発生する。

**改善前** (略図または写真)



**改善後** (略図または写真)

